

1. 略歴

- 1990年3月 北海道大学文学部文学科言語学専攻課程卒業
- 1990年4月 旭化成工業株式会社入社
- 1994年3月 明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業
- 1996年3月 東京大学大学院人文社会系研究科考古学専門分野修士課程修了
- 1996年4月 東京大学文学部助手（附属常呂実習施設勤務）
- 2004年4月 北海道常呂町教育委員会社会教育課ところ遺跡の森主幹
- 2005年2月 博士（文学）学位取得 東京大学大学院人文社会系研究科
- 2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

北東アジア考古学

b 研究課題

北海道を中心とした北東アジア地域の考古学的研究を専門とするが、特に近年は以下の2点を主要な課題として、北海道やロシア極東地域でフィールドワークを中心とした調査研究を行っている。

- (1) アイヌ文化成立過程の考古学的研究
- (2) 日本列島とアジア大陸の「北回りの交流」に関する研究

c 主要業績

(1) 著書

共著、菊池俊彦・松村博文・石田肇・熊木俊朗ほか28名、『北東アジアの歴史と文化』、北海道大学出版会、2010.12
共著、今村啓爾・後藤直・鈴木徳雄・山崎真治・小林謙一・比田井克仁・佐々木憲一・熊木俊朗・河西学、『異系統土器の出会い』、同成社、2011.11

(2) 論文

熊木俊朗、「オホーツク土器の編年と地域間交渉に関する一考察」、『比較考古学の新地平』、709-718頁、2010.2
熊木俊朗、「香深井A遺跡出土オホーツク土器の型式細別と編年」、『東京大学考古学研究室研究紀要』第26号、1-38頁、2012.3

(3) 学会発表

国内、熊木俊朗、「道東地区の概況1」、2010年度北海道考古学会遺跡報告会、北海道大学、2010.12.25
国内、福田正宏・I.Shevkomud・熊木俊朗・國木田大ほか8名、「アムール河口域の考古学的調査（2010年度）」、第12回北アジア調査研究報告会、札幌学院大学社会連携センター、2011.3.6

(4) 研究報告書

大貫静夫・福田正宏・I.Shevkomud・内田和典・熊木俊朗、「東北アジアにおける定着的食料採集社会の形成および変容過程の研究」、2011.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

日本赤十字北海道看護大学 非常勤講師（2010.4～2012.3）

(2) 学会

日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員（2010.4～2012.3）
北海道考古学会会誌編集委員（2010.4～2011.3）

(3) 行政

北海道立北方民族博物館運営評価委員（2010.4～2012.3）
北見市文化財審議委員会委員（2010.4～2012.3）
北見市史跡整備専門委員（2010.4～2012.3）
北見市史編さん委員会委員（2010.4～2012.8）